

2007年7月25日



ニュースリリース

**「先進の EDC モデルと DQPSK モデルで世界初 100Gbits/sec の次世代超高速
フォトリック・ネットワーク・システム・シミュレーションが可能な OptSim4.7」**

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝1-9-6)は、米国RSoft Design Group, Inc.(RSoft社)が開発しました光通信システム・シミュレーション・ソフトウェアOptSim4.7の販売を2007年7月23日より開始いたしました。価格は414万円から、初年度販売見込み30本、主に光ファイバ・メーカー、レーザー、光部品/光半導体メーカー、アクセス装置メーカー、ネットワーク設計・管理メーカー、光関連研究機関、大学等に拡販する予定。

IPTV、VOIP、映像や音楽のダウンロードなど益々増加するトラフィックにより通信帯域の拡大が必要となってきています。最新の10GBase-LRMおよびITU G.959.1で標準化された電子分散補償(EDC:Electronic Dispersion Compensation)を用いたレシーバを、MMSE(Minimum Mean-Square Error)で最適化されたフィルタ係数を持ったDFE(Decision Feedback Equalizer)やFFE(Feed-Forward Equalizer)でモデル化します。さらには、D(Q)PSKなどの多種の変調モデルにより、100Gbit/secを超える超高速フォトリック・ネットワーク・システムの設計、解析が行えます。

OptSim4.7 の主なアプリケーション例

- ・ 100Gbit/sec イーサネットとEDC(IEEE802.3aq)デザイン
- ・ D(Q)PSK システム・デザイン
- ・ Transient EDFA・EYCDFA デザイン
- ・ Radio-over-Fiber デザイン
- ・ DWDM/CWDM, FFTx-PON デザイン

OptSim4.7 の主な特徴

- ・ 600種類以上の光部品、ファイバ、CATV等のライブラリ
- ・ デバイス設計ツール BeamPROP、GratingMOD とのコ・シミュレーション
- ・ MATLAB、Liekki Application Designer とのコ・シミュレーション
- ・ Luna Technology 測定ファイル、SPICE シミュレータとのインターフェイス
- ・ 先進のライブラリ管理機能、プロジェクト・レポート機能と使い易い新ユーザ・インターフェイス
- OptSim4.7はWindows XPならびにWindows VISTA環境で稼働します。
- 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

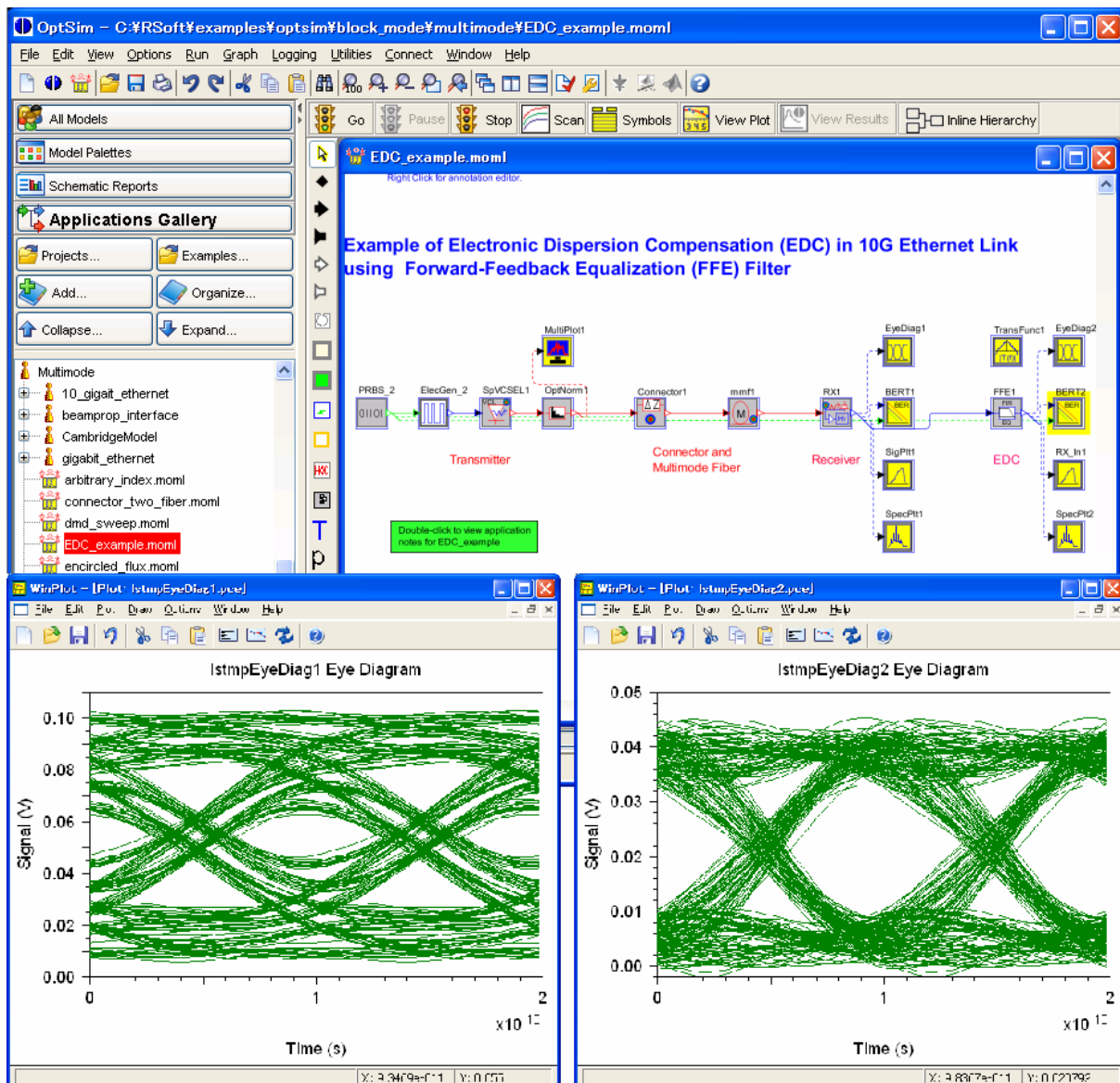
日本アールソフトデザイングループ株式会社

住所: 〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F

電話: 03-5484-6670 FAX: 03-5484-2288

URL: <http://www.rsoftdesign.co.jp/>

E-mail: akagi@rsoftdesign.co.jp



☒ EDC モデルのシミュレーション